

LIXILギャラリー特別展のご案内

LIXILギャラリーは、この度INAXライブミュージアム（愛知県常滑市）で開催中の「急須でお茶を一宜興・常滑・香味甘美（かみかんび）」展のサテライト企画として、特別展を開催します。

ぎ こう 宜興 —知識人が愛した書斎の急須—

会期:2018年9月6日(木)～9月23日(日)

会場:LIXILギャラリー



撮影:三浦健司 *写真はイメージ

| 本リリースに関するお問い合わせ先 |

LIXIL ギャラリー (<http://www.livingculture.lixil/gallery/>)

所在地: 東京都中央区京橋 3-6-18 東京建物京橋ビル LIXIL: GINZA 2F

担当: 大橋恵美 田村志保

TEL: 03-5250-6530 Email: xbn@lixil.com



LIXIL ギャラリー(東京都中央区)では2018年9月6日(木)～9月23日(日)の期間、「^{ぎこう}宜興 一知識人が愛した書斎の急須一」を開催いたします。

| 展覧会の見どころ |

500年にわたり急須を生み続ける中国・江蘇省宜興窯(ぎこうよう)。紫砂(しさ)という均質緻密な土を用い、高度な技術によって焼成されるその急須類(茶銚・茶注・茶壺)は磁器よりも硬く、茶の温度を保ち、銘茶の極上の味わいにはかせません。何よりその洗練された美しさは、明・清代から文人・知識人によって書斎(文房)の必須アイテムとして愛玩され、わが国でも江戸時代以来、文人・知識人のあこがれとなっています。

今回、INAX ライブミュージアム(愛知県常滑市)で開催中の「急須でお茶を宜興・常滑・香味甘美(かみかんび)」展(開催中、9月25日まで)のサテライト企画として、常滑急須を指導した清末宜興窯の名手 金士恒(きんしこう)の作品をはじめ、江戸時代後期からわが国に伝来している宜興窯のいくつかを展示することとなりました。

文人・知識人を魅了した宜興急須の美しさにふれていただければと存じます。文房書斎での茶の楽しみの世界をお楽しみください。

会場では、宜興の急須類7点と煎茶のしつらえなど全15点を展示いたします。

| 開催概要 | 宜興 一知識人が愛した書斎の急須一

会 期 2018年9月6日(木)～9月23日(日)

休 館 日 水曜日

開館時間 10:00～18:00

企画制作 株式会社 LIXIL

会 場 LIXIL ギャラリー

入 場 料 無料

会場写真 <http://www.livingculture.lixil/topics/gallery/g3-1809/>

| 関連企画 | トークイベント 佃一輝(一茶庵宗家)

一茶庵宗家である佃一輝氏のトークを行います。

開催日時 2018年9月5日(水) 18:00～18:30

*休館日となりますがトークのみ開催いたします。

| 監修者略歴 | 佃一輝(Tsukuda Ikki)

1952年生まれ。一茶庵宗家。一般社団法人 文人会一茶庵代表理事。茶の湯文化学会理事。江戸後期から文人文化や文人趣味を伝える佃家を継ぐ一方、古典をふまえたアーティスティックな煎茶表現で知られる。著書に『煎茶の旅～文人の足跡を訪ねて～』(大阪書籍)、『おいしいお茶9つの秘伝』(NHK出版)など。

HP: <http://www.human-n.co.jp/issa-an>

INAX ライブミュージアム企画展「急須でお茶を一宜興・常滑 香味甘美(かみかんび)」

(開催中、2018年9月25日迄) HP: <http://www.livingculture.lixil/ilm/>



LIXILは、創業期のクラフトマンシップを今に語り継ぎ、常に建築家やデザイナーと手を携え、機能性と洗練された美しさの融合を追求してきました。それが、私たちが掲げる「LIVING CULTURE」というコンセプトです。私たちはミュージアム、ギャラリー、資料館および出版活動を柱とした文化活動を通して、ものづくりの技と心を次世代に伝え、斬新なアイデアを発信する場を提供し、LIVING CULTUREを表現していきます。LIXILは、ものづくりにこだわり、ライフスタイルや時代に合った美しく機能的な製品を作り続けることで世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献していきます。